

横断歩道補修・信号機設置など、安全・安心なまちを

… 熊本市民連と日本共産党市議団で、県警に地域住民の要望を届けました …



10月17日、「平和と民主主義・くらしを守る市民連絡会」と党市議団で、市民から寄せられた横断歩道等の改善を県警に要望しました。

全市的な調査と、速やかな改善実施を

交通事故等が発生しないためには、横断歩道や信号機等の適切な管理が重要です。

今回要望した改善事項は、ほんの一部分で、市内全域で横断歩道や白線が薄くなったり、信号機設置についても要望があります。

市民の日常生活に直結した安全・安心を確保する課題です。抜本的な点検の実施と、速やかに対策が求められます。

引き続き、党市議団として取り組んでいきます。



要望カ所の改善、今年度末までに改善の見通し

毎年実施している道路、公園、河川等の改善・補修等の要望の中で、今年の県への要望は全部で6件ありました。消えかかった横断歩道の補修や道路中央線の引き直しなどで、県警へ要望しました。

(北区・5カ所、中央区・1カ所)

対応した県警の担当者からは、要望箇所について「今年度末までには改善する予定」との回答がありました。

【要望カ所】

- ・麻生田明神堂前の白線
- ・竜田郵便局前道路の中心線
- ・武蔵ヶ丘7丁目の丸亀製麺までの中心線
- ・武蔵ヶ丘6丁目から武蔵駅の白線
- ・楠1丁目、2丁目、龍田5丁目、8丁目の横断歩道
- ・白山通りの南熊本病院周辺の横断歩道 など

【控室から】
余暇を愉しむ秋

上野 みえこ

10月13日、中央区の泰勝寺で、「県芸術祭・秋の合同茶会」が開かれました。表千家・裏千家・肥後古流など、各流派が集い、それぞれに趣向を凝らし、濃茶席・薄茶席・立礼席を設けての呈茶が行われます。当日は、好天にめぐまれ、青空の広がる茶席日和でした。とはいえ、例年にない厳しい残暑となり、準備された方も、席入りを待つ私たちも、汗だくになりました。

でも、ひとたび茶席に入ると、秋の風情でいっぱい。床の間の掛物や花を愛で、心を込めて取り合わせられた道具の数々でいただく一服のお茶は、かけがえのないひとときを提供してくれます。忙しい毎日ではあっても、このような時間を大切にしたいものです。

働き方改革がすすめられていますが、本当にゆとりのある毎日になっているでしょうか。余暇を楽しめる時間や収入が確保されるとともに、文化やスポーツの振興にもっと公的な支援が行われる必要があることを痛感します。



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

日本共産党

熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議団

NO. 1432

2025年10月26日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：

kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索

各地の庁舎整備、物価高騰・計画変更などで増えていく事業費

再開発事業で庁舎整備をすすめる葛飾区 2 年 5 ヲ月で整備費用が 1.3 倍に増加

東京都葛飾区（人口 47 万人）は、本館・議会棟が 1962 年竣工（築 63 年）、新館が 1978 年竣工（築 47 年）で、建物・施設の老朽化により、再開発事業での新庁舎建設をすすめています。（新庁舎延床面積・約 3 万㎡）

2023 年 3 月から、2025 年 8 月までの 2 年 5 ヲ月で、物価高騰・計画変更で事業費は約 282.3 億円から約 357.9 億円へと 75.6 億円、1.3 倍に増えています。

再開発の契約後もスライド条項で増える事業費

今年(2025 年)11 月に再開発事業の契約を行います。契約書には「スライド条項」が設けられ、今後物価高騰等の要因で事業費が増えれば、それに合わせ事業費が増える仕組みです。

今後増える事業費見通しとして、「物価高騰等により保留床購

＜2023 年 3 月の資金計画＞
*市が所有する土地の権利床として新庁舎 2,331 ㎡（他にバンケットホール分 2,088 ㎡）を取得します。（権利床には費用負担なし）
*保留床取得による整備部分
保留床購入費 267 億円
追加工事・備品他 15 億円
合計 282 億円

＜2025 年 8 月現在＞
保留床購入費 329.3 億円
追加工事・備品他 28.7 億円
合計 358 億円

★整備費には、庁舎整備基金 220 億円を活用。（今後増やす計画）

入費が 380 億円なる見込み」との議会答弁を紹介されました。

事業費は、計画から設計・実施段階まで、事業契約後も増えることがわかりました。

熊本市との違いは、見通しも含め事業費をきちんと示していることです。

基本計画の事業費が、建設時 1.7 倍になった府中市

東京都府中市（人口 26 万人）は、1959 年に竣工した旧庁舎（築 66 年）の老朽化・耐震性能不足により、新庁舎を建設しました。1 期工事「おもや」が 2023 年 5 月に竣工し、現在 2 期工事「はなれ」の建設中です。（2026 年 11 月竣工予定）

2014 年の基本計画時に 128 億円だった事業費は、物価高騰などの影響で 2 期工事中の 2025 年 9 月現在 223.5 億円に増えています。（1.75 倍、95.5 億円の増）

【新庁舎整備の経緯と事業費】

2014 年	基本計画時	128 億円
2018 年	実施設計完了	173 億円
2024 年	2 期工事着工前	183 億円
2025 年	2 期工事中	223.5 億円

2023 年竣工で物価高騰の影響の少なかった春日部市

埼玉県春日部市（人口約 23 万人）は、1970 年竣工の旧庁舎老朽化で建設検討が始まりました。

新庁舎は、延床面積 24,261 ㎡、工期は 2021 年 9 月～2023 年 9 月、事業費にはクラウドファンディングにより 5,600 万円の資金を調達。物価高騰の影響が少ない 2023 年竣工です。

＜建設の経緯＞

2015 年	基本構想
2017 年	基本計画
2021 年	着工
2023 年	竣工
2024 年 1 月	供用開始

＜整備費＞

基本設計時	107 億円
実施設計時	112 億円
	(+5 億円)

*増えた整備費のうち、2.3 億円が物価高騰分

物価高騰の中で、これから建設する熊本市
他都市の状況を見れば、「基本構想」（2024 年 3 月）の事業費「616 億円＋α」は、今後 1,000 億円規模に増えるのでは？と心配されます。